

世はアンチエイジングの時代。年齢や経験の積み重ねで磨きあげた“成熟からなる美しさ”で輝く女性たちをご紹介します。

THE BEST OF ME

～最高の今を写真で記録する～

She's Story

やっと手に入れた自分時間を満喫中。60歳を祝う“大人記念美”。



今月の『大人記念美』にご登場頂いたのは、宮崎の名店『一心鮨 光洋』の女将、木宮 光代さん。若い時から全く変わらないというスタイルで、60歳を祝うドレスを素敵に着こなしていらっしゃいました。

『一心鮨 光洋』は、現在、長男の一洋さんが二代目を継承され、四男の一光さんがフロアマネージャー兼ソムリエを務められています。一昨年には、世界的美食家のための究極のグルメガイド『Foodie Top 100 Restaurants』で、日本のTOP100レストランにも選ばれました。

また、次男の一成さんと三男の一樹さんは独立し、今春、鹿児島に『名山きみや』を開店。予約の取れない人気店として、食通の注目を集めています。

その前身はご主人が開業された『一心鮨 本店』。光代さんの新婚生活は、店舗2階のご自宅でスタート。ご両親や義姉ご夫婦とも同居という大家族の中で、家事に仕事に、とにかく忙しい毎日を駆け抜けてこられました。

「四人も男の子がいると、朝一升、夜一升のご飯炊き、お洗濯も1日6～7回と、それはもう大変でした。やっと終わったと思う頃には、お店を手伝ってと声が掛かり、片付けや出前に…。年末の紅白も、お節を配達する車の中でした。ただ、どんなに私が構ってやれなくても、大家族なので、いつも誰かが側に居てくれたのは、息子たちにとっては良い環境だったと思います」

そんな家族環境が幸いし、四人のご子息全員が飲食業に携わられているのは、ご両親への尊敬の気持ちと憧れがあるからではないでしょうか。ご子息全員がオーストラリアに留学された時にも、留学先に向いたのは一度だけ。ご結婚後、海外はおろか、県外にも出ることがなかったという光代さんが、最近やっと自分の時間を持つようになったそう。

「有難いご縁を頂きまして、昨年、月に1回、京都の銀閣寺内で、銀閣寺の花方である佐野珠寶先生に手ほどきを受けています。日月の2日間でお出掛けしますので、息子たちには店が1番忙しい日曜日にと…責められます(笑)。でも、そこは目を瞑って行こうと思って。稽古場には凜とした空気が流れ、自分をずっとそこに置くと、無になることができます。今までの自分はざっと生きてきたような気がするくらい、それはもう全然違う世界でした」

そして、もう一つ、光代さんを支えてきたものがエステWAM。

「朝9時から夜中まで、空調が利いた室内にずっといるので、汗もかかず、疲れも溜まりっ放し。それをエステWAMで癒してもらうのが唯一の楽しみ。『デトックスマッサージ』で汗と一緒に毒素を流し、疲れもスッキリ。出なかった汗も出るようになったんです。毎回、これでまた1週間頑張れるって思います。エステWAMが無かったら体が持たないでしょうね。今は、筋肉を付けなければと思って、一生懸命ワムネスで筋トレをしています」

撮影に駆けつけた次男さんと三男さんに見守られ、一緒に記念写真も取めた心温まる時間。晴れやかな笑顔がとても印象的でした。



今月のanne
anne by colette

anne(アンヌ)はcoletteのお姉さんの存在です

木宮 光代さん(60歳)

Teruyo Kimiya
一心鮨光洋 女将

Hair&Make担当
AgeeWAM 鹿児島店
ドレス協力:丸屋プライダル